

全線一律200円

安くて便利

# 当別スタイル「コミュニティバス」

## いよいよ運行開始!!

4月1日から「当別町コミュニティバス」が実証運行を始めます。このバスは、町のほかに北海道医療大学、北洋交易（株）、とうべつ整形外科が共同で運行し、4業者の従来路線とアンケート調査で利用希望の多かった施設を結びました。さらに、JR石狩当別駅・JR石狩太美駅の列車発着時刻に合わせたダイヤを組んでいます。

今年度の実証運行期間に町民の皆さんのご意見をいただき、来年4月から“当別らしい”本格的なバス運行を目指します。

### ◆運賃

■全路線 一律200円（1回乗車につき） ■全路線乗り放題定期券（フリーパス）

定期月数	一般	13歳～18歳 (中学生・高校生)	7歳～12歳 (小学生) 障がい者・介護人
1カ月	1,500円	1,000円	500円
3カ月	4,000円	2,000円	1,000円
6カ月	8,000円	4,000円	2,000円
12カ月	12,000円	6,000円	3,000円

注1)「障がい者」とは、身体・知的・精神などの「障がい者であることを証明する手帳」を保有する人。

注2)「介護人」とは、「障がい者(4級・中度以上)」に同伴する人。

注3)6歳以下(就学前)は無料。(ただし13歳以上の保護者同伴のこと)

注4)定期券の期限は、平成19年3月31日まで(実証運行期間中)

### ◆定期券《フリーパス》販売所

販売所名	所在	電話番号	取扱時間
当別町商工会	錦町1248番地	23 - 2447	9時～17時 (平日のみ)
当別町商店街活性化センター「あえ～る」	弥生52番地	25 - 5116	10時～17時 (月曜日休み)
当別町社会福祉協議会内 老人クラブ連合会事務局	総合保健福祉センター「ゆとろ」内	22 - 2301	9時～17時 (平日のみ)
(有)下段モータース	樺戸町1055番地	23 - 2630	9時～18時
北洋交易(株)	スウェーデンヒルズ管理センター内	26 - 2348	9時～18時
(株)小島商店	太美町1484番地	26 - 2410	8時～21時

### ◆運行時刻

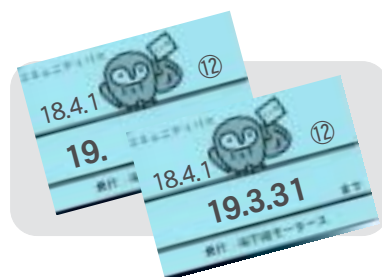
広報4月号と一緒に配布している「コミュニティバス停留所時刻表」をご覧ください。

### ◆運行路線

3月に配布しています「とうべつバス通信第9-10合併最終号」をご覧ください。

### ◆ホームページに掲載

運行時刻・運行路線・運賃などは町ホームページにも掲載しています。<http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/>



### ◆意見・問合せ

企画課企画振興係 ( ☎23 - 3042 )

お答えします

# 町長への手紙

「町長への手紙」を通して町政へのご意見をいただき、ありがとうございます。

17年度に寄せられた18通の手紙の中から、一部をご紹介します。

## ◆意見

私は、まちの中に「町民も地方の人たちも当別のあの場所へ行くこと豊かに楽しめる」そんな場所があったらと考えたりします。

当別でも、広大な土地を利用してきれいな遊歩道を作り、散歩や休憩ができる場所ができればいいと考えています。

## ◆回答

私は、住民の皆さんと行政とが対等に協力し合うことで「美しいまち」を実現させたいと考えています。

お手紙の中にある生活の中から生まれる身近なアイデアのひとつひとつは、住民参加を進めるまちづくり、きつと大きな影響を与えるものと思います。

是非、素敵なお店や楽しい街の誕生に向けて仲間の皆さんとアクシオンを起してください。

## ◆こんな意見が寄せられています

- ・桜やつつじの並木道をつくったらどうか。
- ・町の案内専門ガイドを養成したり新町民の歓迎会をするのはどうか。
- ・町民が一体となって草刈りなどに取り組むべきではないか。
- ・あいあい公園を利用しやすく整備するべきではないか。
- ・まちを広くするために用地をたくさん購入した方が良い。
- ・屋間のJＲの本数が少ないので、増やして欲しい。

皆さんから寄せられた意見は、住みよいまちづくりを進めるための参考とさせていただきます。記名されている手紙には、返信させていただきます。これからも意見やアイデアをお寄せください。

◆担当 情報課広報広聴係 (☎23-30069)

# 助役就任ごあいさつ

当別町助役

近藤 充徳 こんどう みつとりのり



この度、4月1日付で助役に就任いたしました。昨年3月に定年退職するまで、町職員として皆様方からいただきましたご厚情に厚くお礼申し上げます。

地方分権による事務事業の移譲や三位一体改革による国庫補助金、地方交付税の削減、さらには、少子高齢化の急速な進展など、地方行政を取り巻く環境は、なお一層厳しさが増すものと思われま。このような厳しい時代にあつて、泉亭町長が目指す「行財政システム再構築プラン」を着実に推進して自主・自立の足固めを行い、町民の皆様が「安心して住める美しいまちづくり」や「住民との協働によるまちづくり」などの実現に向け、微力ではありますが、誠心誠意取り組んで参ります。

何卒、皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。

# 退任にあたって

前助役 佐々木 保



この度、3月31日をもって助役を退任させていただきますことになりました。在任中は、泉亭町長のもと、行財政再構築プランが完成し、自立したまちに向けて、当別町が大きく動き出した2年間を過ごさせていただきました。今後、町民皆様との「協働のまちづくり」が着実に進んでいくものと思っております。

町長をはじめ、議会議員の皆様、町民の皆様と並々ならぬご指導とご支援、ご協力を頂き心からお礼申し上げますと共に、当別町のこれからの発展と皆様の「健勝を心から」ご祈念し、退任のごあいさつとさせていただきます。

# 大崎市として新たなスタート

## 岩出山町が閉町記念式典を開催

当別町と姉妹都市を結ぶ宮城県岩出山町は、平成18年3月31日に一市六町と合併し、大崎市として新たなまちづくりが始まりました。

3月19日に、岩出山町において行われた閉町記念式典に、泉亭町長をはじめ、竹田議会議長と議会各常任委員会委員長、町職員など17人が招かれ、参加しました。

### 宇和島市・岩出山町・当別町の三極交流を約束

今回、岩出山町に伺った一つの目的に、愛媛県宇和島市と岩出山町、当別町の交流の輪を広げる「友好交流の証」署名式がありました。

宇和島市は、仙台藩祖伊達政宗公の長男秀宗が初代藩主であり、幼少期を岩出山城で過ごした縁で、平成11年に岩出山町と姉妹都市を結び、交流を行っています。

当別を開拓した伊達邦直公は、岩出山伊達家初代、宗康（政宗の四男）から数えて、10代目に当たり、平成12年に当別町と岩出山町は姉妹都市を結びました。昨年11月には、岩出山町民号で約60人の岩出山町民が当別を訪れ交流しましたが、この席で、三市町での交流の輪を深めたいとの声も上がり、これからの三市町の絆を深める話し合いが行われてきました。

閉町式典の前日に、岩出山町を象徴

する場所でもある「有備館」において、三市町の市長、町長と議会議長が「友好交流の証」に署名を行い、未永い交流関係を誓い合いました。

### 岩出山町閉町記念式典

閉町記念式典は、スコーレハウスで行われ、当別町から贈った600本のチューリップが飾られた会場を500人以上の町民が埋め尽くしました。

来賓あいさつに立った泉亭町長は「両町の強い絆が希薄になっていくとがあってはならないと思っており当別町民は合併後もこの岩出山との交流を大切に続けて行きたいと願っている」と述べるとともに、岩出山町民の来町を記念して作成し、当別駅自由通路に掲げる予定の銘板を披露しました。岩出山が大崎市となっても、本町との絆は未永く続くことを願います。



### 岩出山閉町式

当別町代表監査委員  
鹿野 信 一

「姉妹都市」岩出山町は合併により52年の歴史を閉じることになった。その閉町式が3月19日に岩出山町のスコーレハウスで行われ町長、議長外の方々と共に参列する機会を得た。

式壇中央には国旗と町旗が掲揚され、式壇の袖は当別町が贈った黄、白600本のチューリップで飾られていた。緞帳の脇には『ありがとう学問の町・はばたこう未来へ!』と大書された布幕が垂れ下がっている。私は開式を待つ間このタイトルの意味を考えていた。学問の町とは日本最古の藩校「有備館」を誇る岩出山の町づくりのキーワードである。岩出山町は藩祖政宗公以来の伝統である子弟の教育を町づくりの基本に据えて来た。その具現化が「系列教科教室」という他に類をみない中学校の運営であり、京都の「哲学の道」に発想する内川沿いの「学問の道」の整備等であったろう。

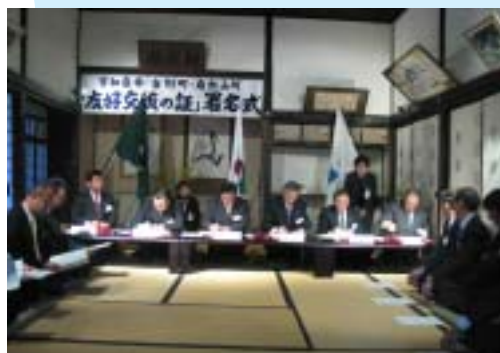
だがこのユニークな町づくりの理念も合併を機に失われていくことであろう。何故ならそれは「合併」がもたらす宿命のようなものだからである。そして「ありがとう学問の町」の意味がこれまでの町づくりの理念に対する別離の言葉だと気が付いたとき私はいま将に岩出山町の卒業式に参列しているのだと思った。



閉町式であいさつする泉亭町長



会場に飾られたチューリップ



「友好交流の証」の署名式



当別駅自由通路に飾られる岩出山来町記念の銘板